

# 2018年度 (平成30年度) 年次報告書

特定非営利活動法人  
京都地球温暖化防止府民会議  
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)



# 0. 法人とセンター

## ● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

パリ協定が発効し、世界は、温室効果ガス排出実質ゼロの社会 = 脱炭素社会へと大きな歩みを開始しました。2018年4月17日に閣議決定された第五次環境基本計画に記されている通り、いま、新たな文明社会を目指す大きな発想の転換が求められています。

地球温暖化対策は、とすれば「不便さや不快さを我慢するもの」、「経済活動に悪影響を与えるもの」と捉えられがちですが、実はそうではなく、健康、防災、産業振興、地域活性化など、様々な『一石二鳥』=コベネフィットをもたらすものと期待されています。

私たちは、「脱炭素型のステキな京都」の実現を目指し、様々な立場の方々との連携で活動を行っています。

### Vision

脱炭素型のステキな京都

### Mission

ビジョン実現に向かい、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

### Action

- ① 担い手のサポート
- ② モデル的な取組づくり
- ③ 対策の面的展開

## ● 私たちは、法に基づき、京都府知事による指定を受けて活動しています

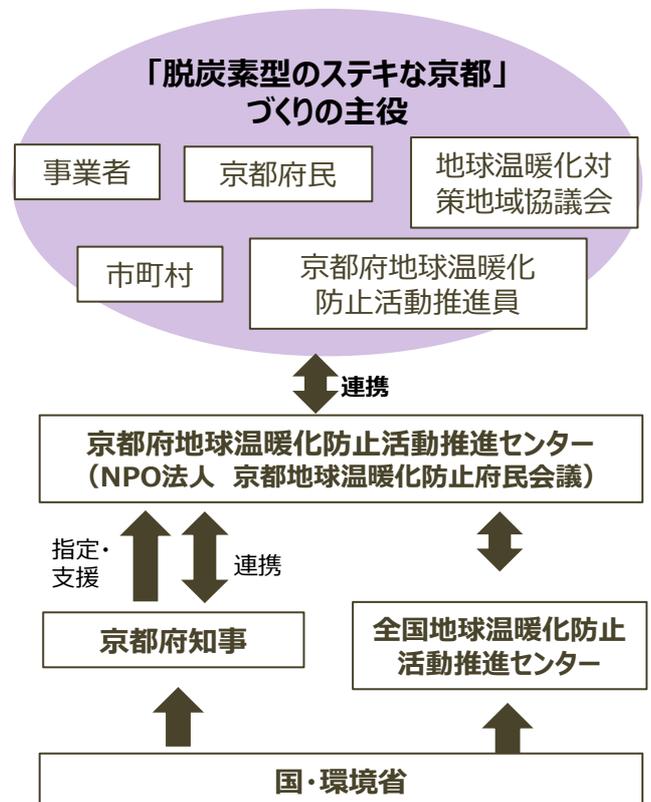
NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定され活動を行っています。

センターの指定は全国で18番目でしたが、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、単なる環境保全のための1団体ではなく、府知事指定のセンターとして、「脱炭素型のステキな京都」づくりの主役の皆様との連携のもとに活動をすすめています。

以降、本冊子では下記のように表記します。  
京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター  
京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員  
地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



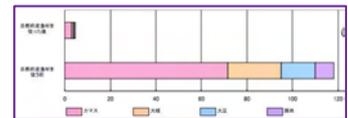
## ● 連携でモデル事例をつくる・広げる ～これまでの代表的な活動～

「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。

京都府の「**ウッドマイレージCO2を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO2削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO2削減に取り組んできました。

KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO2削減に取り組んできました。フードマイレージCO2を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。

私たちは、**京都を大切に作る取り組みで  
気候変動対策を進めてきました。**



## ● 2018年度（平成30年度）の活動（本報告書の目次）

1. 地球温暖化防止府民活動推進事業……………P.4
2. 再生可能エネルギー普及支援事業……………P.6
3. 家庭のエコ推進事業……………P.8
4. ウッドマイレージCO2削減に向けた京都府産木材利用推進事業……………P.10
5. 中小企業等省エネ支援事業……………P.11
6. 地域における地球温暖化防止活動促進事業……………P.12
7. その他……………P.15

# 1. 府民活動推進

## 情報発信のサポート

貸出啓発グッズを整備し、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。啓発グッズの貸出回数は104回。およそ3日に1回の割合でご活用いただいたことになります。

啓発グッズ貸出回数 **104回**  
貸出アイテム数 **のべ 815アイテム**

啓発グッズ 人気（貸出回数）トップ3

- 第1位 **誤解の多い省エネ術（クイズ）**  
**（パネル+掛軸型展示）**
- 第2位 **自転車発電体験機**
- 〃 **手回し発電電球点灯キット（複数人用）**

クイズや体験グッズが人気



貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、  
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

## 「夏休み省エネチャレンジ」で家族ぐるみの取り組みを促進

「パリ協定」や「実質ゼロ」の情報も掲載。

小学校の協力を得て「夏休み省エネチャレンジ」を実施。参加世帯数は17,916世帯に上りました。推進員の皆さんが地元の小学校に出向いて参加を呼び掛けてくださったり、異動された先生が移動先の学校でも取り組んでくださったりと、多くの方のご協力によって達成できた数値です。

熱心に取り組んだ学校には、協賛企業の協力を得て、環境教育教材を贈呈しました。

京都府立大学（生命環境科学研究科環境心理行動学研究室）の協力を得て効果を検証したところ、①児童の行動変容につながっていること、②親など家族にも行動が広がっていること、③何年も継続して取り組んでいる人ほど行動が定着していることなどが明らかになりました。

参加世帯数 **17,916世帯**



参加賞は「おんだんか  
ぼうしどうぶつしょうぎ」



表彰式で知事からの表彰状と、  
協賛企業からの教材を贈呈

## ● 推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで2,142回に上りました。また、啓発活動だけではなく、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって各地で行われています。

推進員のべ活動件数 **2,142回**  
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント



### 2018年度 推進員活動回数一覧

活動内容	件数
みどりのカーテン普及	205
子ども向け出前講座	506
大人向け出前講座	144
イベントでの啓発	497
家庭の省エネ相談・診断	217
事業所の省エネ相談・診断	31
森林保全活動	275
その他(廃食油回収を含む)	267
合計	2,142

推進員活動についてはこちら  
<https://www.kcfca.or.jp/usage/leader/>

## 「府民活動推進」の全体像と主な成果

### <京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動促進事業>

相談窓口の設置

地球温暖化防止活動に関する情報提供（ニュースレター4回 各3,500部発行）

Webサイト運営（アクセス163,267件）

京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催（5回）

推進員活動支援金の支給（活動支援金支払対象者：158人 推進員活動実績：2,142回）

環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出（貸出回数：のべ104回 貸出アイテム数：815個）

親子温暖化教室（小学校等での環境教育）（実施回数：10回、のべ参加者数：429人）

環境家計簿（「夏休み省エネチャレンジ」17,916世帯 インターネット版3,753人）

家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援（回数：10回 参加者数：671人）

### <京都府委託 けいはんなe2未来まなびパークでの講義及び体験学習運営業務>

けいはんなエネルギー教室の開催（10回）

### <京都府委託 京都エコキッズ・クエスト実施業務>

子どもたちが通年を通して環境活動を行うための支援ツールとして京都エコキッズ・クエスト手帳、特典シールを作成。及び制度の募集案内チラシを作製した。

## 2 再エネ普及支援

### 京都再エネコンシェルジュと連携した広報

太陽光発電や太陽熱、薪ストーブなどの家庭向け再エネについて知ってもらうため、京都再エネコンシェルジュのいる11事業所と連携し、イオンモール京都桂川にて再エネ啓発イベントを開催しました。

当日は、風車による発電体験、再エネクイズ等を実施しました。クイズは、京都再エネコンシェルジュのブースをめぐることで回答が分かる形式にしました。

中には、再エネ設備の導入について京都再エネコンシェルジュから具体的な説明を受け、導入を検討される方もいらっしゃいました。

※京都再エネコンシェルジュ認証制度とは、京都府内で家庭向け再エネを提案する人を京都府が認証する制度です。

イベントブース訪問・  
体験者数（最大日） **401人**



### 再エネを勧める人へ情報提供

京都での再エネに関する情報提供を行う京都再エネポータルサイトの運営を行い、補助金情報の掲載、導入者の声の紹介、卒FIT問題などの周知を行いました。

また、京都再エネコンシェルジュ向けに、ネットゼロエネルギーハウス、HEMS、電気自動車などの実地見学会および研修会を三菱ENEDIAにて行いました。

京都再エネポータルはこちら  
<https://kyoto-saiene.net/>



京都再エネコンシェルジュによる住宅見学会情報を発信



建築関係の雑誌に  
広告記事を掲載



## ● 再エネ工作教室の実施とプログラム整備

親子向けの再エネ工作教室（気候変動に関する座学、発電実験、再エネ工作を組み合わせたもの）を5回実施し、106名にご参加いただきました。

また、同プログラムの整備を行い、資料やノウハウをウェブサイトへ公開し、多くの方が活用できるようにいたしました。そして、市町村担当者や推進員を対象に、再エネ工作教室の運営ノウハウをお伝えする研修会を、京都府北部と南部で合計2回実施しました。

この研修会を受けられた方が地域で自ら再エネ工作教室を開催する動きが広がっています。



再エネ工作教室についてはこちら  
<https://kyoto-saiene.net/report/edu/>



ウェブサイトには、プレゼンテーションデータ、作り方の詳細、注意点の情報を掲載

## 「再エネ普及促進」の全体像と主な成果

### ＜京都府委託「京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務＞

- 京都再エネコンシェルジュ交流のための実地見学会実施（23名参加）
- 京都再エネポータルサイトの運営と新規拡充
- 府内の建築士及び工務店9つを対象とした再エネ普及のための支援策検討
- 京都再エネコンシェルジュ及び市町村と連携した支援
- 親子向け再エネ広報活動（再エネ工作教室5回実施106名参加、工作教室担い手研修会実施）
- 一般向け再エネ啓発活動（イオンモール京都桂川等での京都再エネコンシェルジュと連携した啓発）
- 広告掲載

# 3. 家庭のエコ推進

## うちエコ診断の実施・担い手の育成

京都市のエコ学区ステップアップ事業の一環で、「うちエコ診断」の診断会を実施しました。12学区、3団体、4イベントで、計20回の新段階を実施。診断件数は429件でした。

実施の4か月後に、取組状況を確認するアンケートを送付し、181件の回答をいただきました。その結果を集計したところ、年間165t-CO2削減効果が確認されました。また、年間光熱費削減額は2万円（最大削減額は6万円）でした。

(※削減効果は取組実施状況からのみなし量)

うちエコ診断件数 **429件**

みなし削減量 **165t-CO<sub>2</sub>**

また、うちエコ診断士の情報共有、スキルアップを目的に、研修会を3回実施しました。

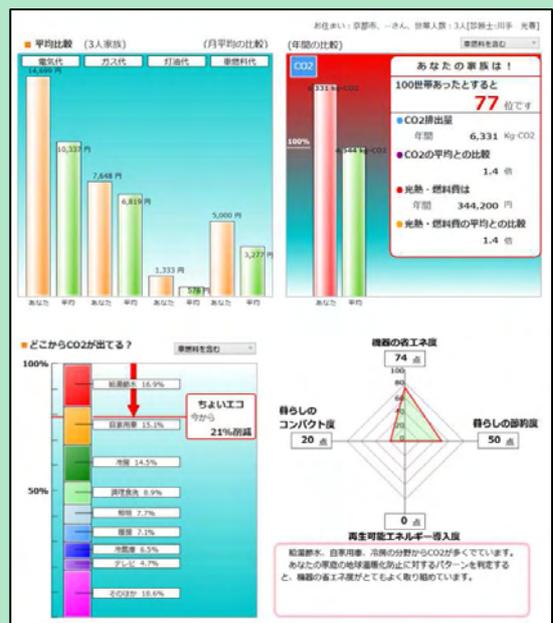
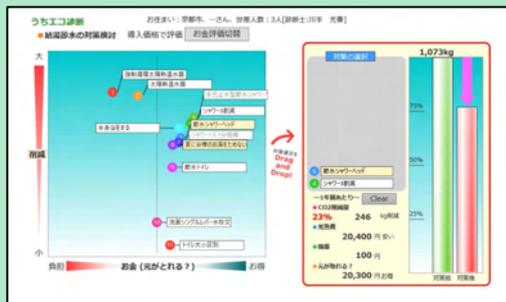
- 第1回 6/1 (8/28) 開始前研修 22名参加
- 第2回 9/7 家庭の省エネ研修 19名参加
- 第3回 2/22 振り返り研修 14名参加



## 「うちエコ診断」とは

ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱費、設備機器の使用状況をもとに、専用のアプリケーションを用いて、家庭の実情に即した省エネ・省CO2対策をご提案するものです。環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が診断を行います。

NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、「うちエコ診断実施機関」として認定されており、登録いただいた診断士の皆様と連携して診断を実施しています。



## ● 環境×暮らしの快適性アップ支援

京都市エコ学区サポートセンターやエコ学区、城陽市との連携で、主に高齢者のご自宅を訪問し、エアコンのフィルター清掃、シーリングライトのLEDへの取り換え、簡易断熱のための省エネグッズの設置などをお手伝いしました。また、前後の温度変化やエネルギー消費量を計測させていただきました。

お住いの方からは、「エアコンの効きが良くなった」、「暖かくなった」との声をいただきました。



省エネグッズを活用した簡易断熱で、明らかに温度が上昇  
(外気温が同じくらいの日を比較)

## ● HEMS設置支援

対象HEMS機器を新たに購入し設置する個人、若しくは対象HEMS機器が設置された住宅を新たに所得する個人に対して補助を行いました(京都府からの間接補助)。補助額は機器費の半額(最大6万円)。  
交付件数：147件  
交付額：7,914,000円



## 「家庭のエコ推進」の全体像と主な成果

### <京都市委託「エコ学区」ステップアップ事業に係るうちエコ診断に関する業務>

うちエコ診断士33名を対象に研修会を実施。

20回のうちエコ診断会を開催し、429件の診断を実施。

回収された181件の事後調査票を回収した結果、165.012トンのCO2削減効果があったことを確認。

(受診者全体の排出量の10.4%、アンケート返送者の排出量の25.5%の削減)

### <京都府補助 府民ネガワット発電推進事業(HEMS機器設置)>

京都府内における147件のHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)設置に対して補助金を交付。

### <京都市環境保全活動推進協会委託 地域ぐるみの省エネ・快適生活サポートプロジェクト>

京都市内のエコ学区と連携して4件で省エネグッズ提供を含む暮らしのサポートを実施。

得られたデータを活用し、学区全体でヒートショックに関するアンケート調査を実施。

アンケートデータを活用して学区にお住いの方を対象とする学習会を実施。

### <城陽市委託 家庭における冬の実証事業>

5件のお宅を訪問して、省エネグッズの取り付けやエアコンのフィルタ掃除などのサポートを実施。

計測機器によって温度や消費電力の変化を記録して効果を測定。

# 4. ウッドマイレージ推進事業

## ウッドマイレージCO2削減に向けた京都府産木材利用推進事業

木材の地産地消による、一次産業振興と木材輸送時におけるCO2削減を目指す取り組み。京都府産木材認証制度における指定認証機関として、15年間にわたり「京都府産木材証明書及びウッドマイレージCO2計算書」の発行、取扱事業者のヒアリング調査等を実施してきました。

2018年5月末をもって役割を終え、次の認証機関である京都府木材組合連合会への引継ぎを行いました。



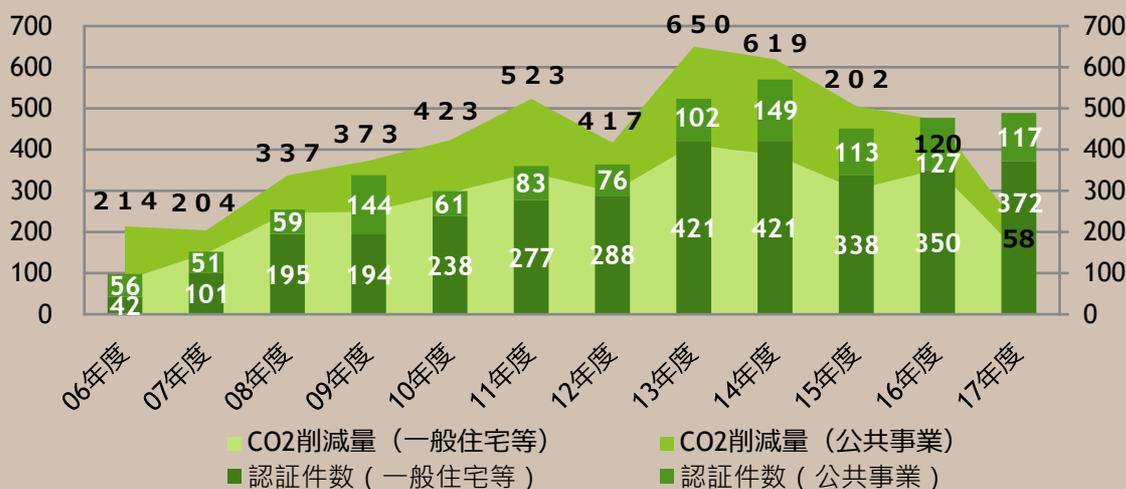
### 15年間の実績

証明書発行件数 **4,428件**  
CO2削減効果 **5,000t-CO2**

年度	年度	公共			一般		
		件数	使用量(m <sup>3</sup> )	CO2削減効果(kg-CO2)	件数	使用量(m <sup>3</sup> )	CO2削減効果(kg-CO2)
2004年度	平成16年度	6	190.092	23,755	—	—	—
2005年度	平成17年度	46	247.6400	27,791	—	—	—
2006年度	平成18年度	55	726.9308	130,145	42	757.7125	83,461
2007年度	平成19年度	51	588.4729	55,915	101	1562.5191	147,957
2008年度	平成20年度	59	1037.8748	90,575	195	2696.2100	246,496
2009年度	平成21年度	145	1236.6701	123,724	194	2729.5414	249,039
2010年度	平成22年度	61	1240.1320	127,380	238	3257.5899	295,667
2011年度	平成23年度	84	1922.4283	179,185	277	3846.5373	343,850
2012年度	平成24年度	76	1148.3521	120,003	288	3359.0986	296,673
2013年度	平成25年度	102	2315.9425	238,256	421	4840.2592	412,061
2014年度	平成26年度	149	2893.3162	231,958	421	4536.6751	387,420
2015年度	平成27年度	113	2212.3584	201,695	338	3685.0649	303,419
2016年度	平成28年度	127	1240.4242	120,327	350	4155.5906	352,521
2017年度	平成29年度	117	1595.5168	58,092	372	4293.3496	151,212
2018年度	平成30年度	7	93.0085	4,099	63	767.3054	27,025
合計		1,192	18406.0591	1,705,046	3,300	39720.1483	3,269,776

※燃費向上を受け、平成29年度よりトラックのCO2排出係数を変更したため、CO2削減量が減少。

### 証明書発行件数とCO2削減量の推移



# 5. 中小企業省エネ支援

## 中小企業の省エネ診断

事業所4か所の省エネ診断を行い、データを測定してエネルギー使用状況を見える化するとともに、データの解析を行って、設備更新を含む省エネ対策の提案を行いました。

診断にお申込みいただいたのは、ホテル2件と福祉施設2件。ホテルでは、低温の源泉からヒートポンプで熱回収をすることで大幅に省エネ化を図る提案を行いました。福祉施設では、更新時期を迎えている空調機について、各メーカーの最新の機器を比較して最適な提案を行いました。

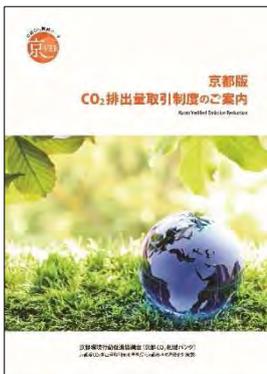
診断後には省エネ設備導入に関する補助金申請をお手伝いするなど、伴走支援を続けています。



データロガーを設置して、1分ごとの電力消費量を継続的に記録。

## 京都版CO2排出量取引制度に関連する省エネ実践例情報発信

「京都版CO2排出量取引制度のご案内」の改定を担当し、CO2削減効果を上げた企業を取材させていただき、実践事例を担い手の生の声とともに冊子に掲載してPRしました。



## 「中小企業の省エネ支援」の全体像と主な成果

### <各事業所からの委託 CO2削減ポテンシャル診断業務>

環境省の「CO2削減ポテンシャル診断」の診断機関として登録。

環境省の「CO2削減ポテンシャル診断」補助金の交付を受けた4事業所からの委託を受けて診断を実施。

対策によるCO2及びコスト削減効果を算出して提案。

設備の導入にあたっての補助申請やその後の効果報告等をサポート。

### <京都版CO2排出量取引制度パンフレット作成業務>

「京都版CO2排出量取引制度のご案内」の改定を担当し、省エネ実践例を取材して冊子にまとめ発信。

## 6. 地域における活動促進

### 宅配便再配達削減プロジェクト

宅配便の再配達が増加し、CO<sub>2</sub>排出量の増加、労働生産性の低下など、様々な社会的損失につながっています。

これを減らすため、京都府内の運送に関わる労働組合の方、運送業界の方、京都の産業に関わる方などに参加いただいて関係者会議を開催。また再配達削減担い手ワークショップを開催して、取り組みの検討を行いました。検討の内容を受けて、次のような取り組みを行いました。



#### ■ 再配達削減チャレンジ

再配達回数 **52%削減**



推進員の皆様にご協力いただき、再配達削減を呼び掛ける啓発冊子を配布。また、イベントに啓発ブースを設けて、チャレンジへの参加を呼びかけました。効果測定アンケート（120人）によると、取り組みによって、再配達の回数は52%（206回→97回）削減されました。

#### ■ 職場受け取り1か月チャレンジ

職場受け取り回数 **82回/月**



「現代版コミュニティ受け取り」として、個人あての荷物を職場で受け取れるようにする「職場受け取り1か月チャレンジ」に参加する中小事業所を募ったところ、21事業所が参加。効果測定アンケートに回答のあった10事業所だけで、1ヶ月で82回の職場受け取りが実践されました。

### 京エコロジーセンターと連携して「クールチョイス☆チャレンジ展」を開催

京エコロジーセンターと連携し、特設展示企画「夏休み限定！クールチョイス☆チャレンジ展～ミッションをクリアしよう～」を実施しました。

ブースでくじを引いてもらい、出た番号に応じてCOOL CHOICEに関連する館内の様々なミッションにチャレンジしてもらう企画です。「すてきだと思ふ温暖化対策への投票」の参加者が600名に達するなど、3,000名を超える親子連れに啓発を行うことができました。

参加者 **3,000人以上**



## ● 地域協議会と連携したCOOL CHOICE学習会

府内の地域協議会と連携してCOOL CHOICE学習会を開催しました。この学習会では、クイズなどを通して気候変動問題の最新事情と「かしこい選択」の具体的方法、意義を考えました。

5回の開催で、231名の方にご参加いただきました。

5回の学習会参加者数 **231人**



## ● COOL CHOICE相談プログラム

日常生活におけるこまめな省エネだけでなく、省エネグッズの活用や省エネ機器の選択を含む多様なCOOL CHOICEの方法を盛り込んだMicrosoft ExcelベースのCOOL CHOICE相談プログラムを開発。

これを使った相談・助言を行うために、推進員等を対象とした研修及び2回のイベントにて実際にCOOL CHOICE相談所（OJTを兼ねる）を実施しました。



## ● 連絡調整会議

地域協議会、地球温暖化防止に取り組む諸団体、事業所団体、行政など、多様な主体のメンバーで構成する「京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議」を2回開催しました。

この会議は、担い手同士の情報共有と緩やかなネットワークづくり、センターの活動への提案を目的に開催するもの。特に2018年度は、環境・経済・社会の統合的発展に資する具体的事例の共有を目指して会議を行いました。



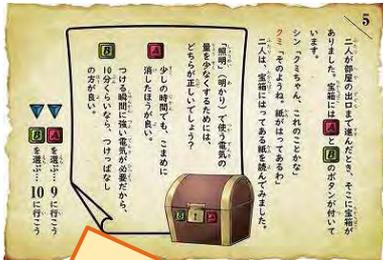
## ● 地域と連携したCOOL CHOICE啓発 長岡京市

長岡京市のCOOL CHOICE啓発事業をお手伝いしました。

環境フェアへのブース出展、小学生向けゲームブック風教材「地球温暖化を止めろ！勇者の冒険」の作成、長岡京ステップアップチャレンジ会議省エネ推進チームのノウハウをまとめた「家庭の省エネ秘伝の書」の作成などを通して、多くの人に楽しみながらCOOL CHOICEを知ってもらうことができました。

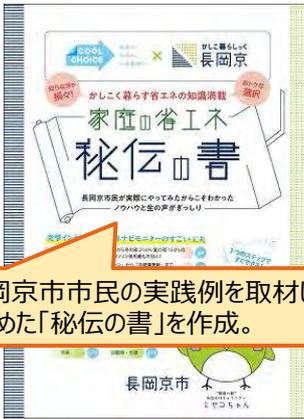


長岡京市環境フェアに、射的やオリジナル写真シールづくりによる啓発ブースを出展。



選択によって進む先が変わる「ゲームブック風教材」を作成。

「脱炭素」を視野にいたれた小学生向けチェックリストを作成。



長岡京市市民の実践例を取材してまとめた「秘伝の書」を作成。



### 「地域における活動促進」の全体像と主な成果

- <地球温暖化防止全国ネット補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業>
  - 「宅配便再配達削減プロジェクト」を実施。関係者会議、オピニオンリーダーワークショップ（4回開催、のべ73人参加）、クリスマス＆年末に向けたキャンペーン（個人対象の啓発兼アンケート120名回答 再配達を52.9%削減）、職場受け取り（実施事業所21）。
  - 京エコロジーセンターと連携し、「夏休み限定！クールチョイス☆チャレンジ展～ミッションをクリアしよう！～」を実施。
  - 地域における「COOL CHOICE学習会」を開催（5回開催 のべ231人参加）
  - 簡易COOL CHOICE相談プログラムの開発。研修（2回）及びCOOL CHOICE相談所を実施。
  - 京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議の開催（2回）
- <長岡京市委託 COOL CHOICE広告掲載業務、COOL CHOICEノウハウ集作成業務、COOL CHOICE賛同ブース等運営業務、小学生向けCOOL CHOICE教材作成業務>
  - 京都新聞への啓発広告を掲載、実践者の取材をもとにしたノウハウ集（秘伝の書）の作成、長岡京環境フェアでの「オリジナル写真シールづくり」などの体験コーナー、脱炭素社会に関する展示等
  - ゲームブック風環境学習教材の作成（小学4年生以上全員に配布）、チェックシートの作成（全児童に配布）

## 7. その他

### 講師・委員派遣等（主なものを抽出して掲載）

#### 委員・役員・報告等

##### <京都府>

- ・地球温暖化対策プラン検討委員
- ・住まいの断・密力強化方策研究会委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・バイオマス水素検討会委員

##### ■ 議会・審議会での報告

- ・7/11 京都府議会  
エネルギー政策特別委員会 参考人
- ・11/14 京都府 新総合計画策定懇話会  
「第3回文教部会」話題提供

##### <市町村>

- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会委員

##### <団体等>

- ・公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 事業運営委員
- ・京のアジェンダ21フォーラム 幹事
- ・（一社）地球温暖化防止全国ネット 中期事業方針検討会議委員
- ・K G P N 常任幹事
- ・京都府産木材利用推進協議会 外部理事（2018年8月まで）

#### 講師派遣（講演会・研修・事例報告等）

##### <環境省>

- 5/29 環境調査研修所 全国の自治体担当者対象  
地球温暖化対策研修  
講演 及び ワークショップアドバイザー

##### <京都府>

- 5/17 乙訓保健所「夏の省エネ教室」講師
- 7/27 「京都府WeDoKYOTOユースサポーター研修会」講師
- 10/13 山城広域振興局「消費生活講座」（精華）講師
- 10/18 山城広域振興局「消費生活講座」（城陽）講師

##### <市町村>

- 4/17 宇治市「職員研修」講師
- 6/30 長岡京市環境講演会「買い物ゲームで学ぶ」講師
- 7/31 城陽市民大学「自然・科学コース」講演
- 8/24 「向日市南地区民生児童委員協議会 研修会」講師
- 11/10 京丹後市「環境リーダー養成講座（第1回）」講師
- 11/24 京丹後市「環境リーダー養成講座（第3回）」講師
- 1/12 京丹後市「環境リーダー養成講座（第5回）」講師
- 3/20 城陽市「「温暖化×防災」私たちにできること」講師

##### <団体等>

- 5/19 大学生協連学習会 講師
- 5/29 ウッドマイルズ算定技術者講習会 講師
- 6/17 エコパートナーシップうじたわら総会 講演
- 1/30 おひさま発電 安朱保育園 点灯式 講師
- <他府県等>
- 4/5 「香川県温暖化防止活動推進員研修会」講師
- 6/9 「大垣市廃棄物減量等推進員大会研修会」講師
- 6/11 「福岡県地球温暖化防止活動推進員研修会」講師
- 2/7 地域における省エネ家電買換促進検討会議 事例報告

#### 大学の講義への貢献

- 立命館大学 産業社会、文、法・国際関係学部「現代環境論」
- 立命館大学 産業社会学部「子どもと地球環境」授業担当講師
- 龍谷大学 政策学研究科「環境課題分析研究」非常勤講師
- 7/10 立命館大学「地域参加学習入門」ゲスト講師
- 10/25 同志社大学「レイチェルカーソン寄附講座」ゲスト講師  
（大学の講義 合計77コマ）

## ご支援にあつく御礼申し上げます

### ■ 納得工房（積水ハウス株式会社）様

木津川市にある積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 納得工房で開催される「すまい塾公開講座」の参加費全額を、京都府内の温暖化防止活動促進のためにご寄付いただいています。

すまい塾公開講座についてはこちらをご覧ください。

[https://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/seminar\\_event/public/index.html](https://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/seminar_event/public/index.html)

### ■ 地球環境関西フォーラム様

「うちエコ診断」等で連携関係にあった「地球環境関西フォーラム」様が、団体の解散にあたり、保有財産の一部を寄付してくださいました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。平素からのご支援にあつく御礼申し上げます。

脱炭素型のステキな京都の実現に向けて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 情報をお届けします。ぜひご利用ください。



ウェブサイトを全面更新しました。

ぜひご覧ください。

貸出啓発グッズの一覧等もこちらから。



京都の温暖化防止関連情報等「KCFCAニュース」  
[webwarming+subscribe@kcfca.or.jp](mailto:webwarming+subscribe@kcfca.or.jp) に空メール  
をすると、返信がくるので、そのメールに返信するか文中の  
「このグループに参加」をクリックすると自動で登録できます。



ツイッター



ライン



フェイスブックページ

SNSで情報を発信しています。

Webうおーみんぐ配信の際にもお知らせします

アカウントをお持ちの方は、ぜひ登録をお願いします。

情報発信のペーパーレス化を進めています。ご協力をお願いいたします。



特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議  
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41番3

TEL : 075-803-1128 (代) FAX : 075-803-1130

E-mail: [center@kcfca.or.jp](mailto:center@kcfca.or.jp) URL: <https://www.kcfca.or.jp>